

# 経済・金融 フラッシュ

## 【6月米ISM製造業指数】 景況感の良さを再確認

経済研究部 研究員 高山 武士

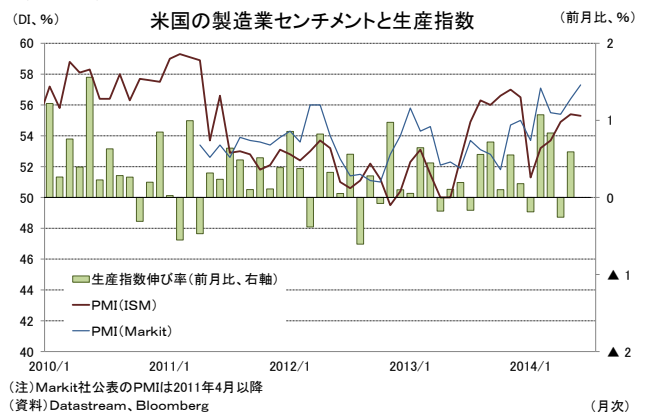
TEL:03-3512-1824 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

### 1. 結果の概要:景況感の良さを再確認

7月1日、米サプライマネジメント協会（ISM）は製造業の景況感を示す6月の製造業指数（PMI）を公表した<sup>1</sup>。結果は55.3<sup>2</sup>となり、前月（55.4）からほぼ横ばいとなった（図表1）。

市場予想が55.9（Bloomberg集計の中央値）であったため、予想を下回る結果となったものの、先行きの動向を示す新規受注が拡大を続けているなどの好材料もあり、それほど悲観する必要もないだろう。強いて言えば雇用指数が伸び悩んでいるため、雇用環境の改善が遅いことに懸念が残るものの、総じて見れば、景況感の良さを再確認できた内容であったと言える。

（図表1）



### 2. 結果の詳細:それほど悲観する必要はない

ISMの公表したPMIは、2013年6月以降、13カ月連続で景気の拡大・縮小の境目となる50を上回っている<sup>3</sup>。業種ごとに見ると、改善した業種は18業種中15業種<sup>4</sup>となり、前月（同17業種の改善）より減少、一方、悪化した業種は3業種に増えている（前月は悪化した業種はなし）。一方、PMIの構成指数を含めた10指数中では2指数が改善し、こちらも前月（同4指数の改善）より減少している（図表2）。

ただし、ISMレポートによるコメントを見る限り、消費者支出がより強くなっている（飲食料・

<sup>1</sup> ISMが企業の購買担当者に対し、新規受注や生産などの10項目について、前の月と比較して「良くなっている」「変わらない」「悪くなっている」のいずれに該当するかをアンケートにより調査して、算出したDI（拡散指数、調査する10項目は図表2参照）。具体的な良くなっている=1、変わらない=0.5、悪くなっている=0として平均したものが、各項目の指数となる。例えば、すべての回答者が「良くなっている」と回答すると100%、「悪くなっている」と回答すると0%となる。回答項目うち、新規受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫の5指数について、均等に（=それぞれウェイト20%で）平均した総合指数を特にPMIと呼ぶ。本稿では、この5指数をPMIの構成指数と呼んでいる。

<sup>2</sup> 季節調整済の数値。以下、特に断りが無い限り、季節調整済の数値を記載している。

<sup>3</sup> 2013年4月、5月は50.0であり、50ちょうども含めて数えると19カ月連続で50以上を記録している。

<sup>4</sup> 改善した業種は以下の通り

家具、非金属鉱物、飲飲料・タバコ、一般機械、加工金属、コンピュータ・電子機器、輸送機器、その他製造業、電気機器、衣類・皮革、木材製品、出版・印刷、石油・石炭、一次金属、紙製品、

一方、悪化した業種は以下の通り

繊維産業、化学製品、プラスチック・ゴム

タバコ)、自動車産業の好調さが需要の増加に寄与している(加工金属)など総じて景気の良さがうかがえる内容であったと言える。

(図表 2)

ISM製造業指数 (PMI)																				(DI, %)	前月差	
	2012/10	2012/11	2012/12	2013/1	2013/2	2013/3	2013/4	2013/5	2013/6	2013/7	2013/8	2013/9	2013/10	2013/11	2013/12	2014/1	2014/2	2014/3	2014/4	2014/5		2014/6
<b>PMI</b>	<b>51.2</b>	<b>49.5</b>	<b>50.4</b>	<b>52.3</b>	<b>53.1</b>	<b>51.5</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>52.5</b>	<b>54.9</b>	<b>56.3</b>	<b>56.0</b>	<b>56.6</b>	<b>57.0</b>	<b>56.5</b>	<b>51.3</b>	<b>53.2</b>	<b>53.7</b>	<b>54.9</b>	<b>55.4</b>	<b>55.3</b>	▲ 0.1
新規受注	51.8	51.4	50.1	50.8	55.7	51.7	49.7	49.6	55.7	59.1	63.6	61.3	61.3	63.4	64.4	51.2	54.5	55.1	55.1	56.9	<b>58.9</b>	+ 2.0
生産	51.9	52.2	53.1	53.8	54.5	53.9	52.1	52.5	55.7	60.8	63.0	61.2	60.8	62.4	61.7	54.8	48.2	55.9	55.7	61.0	<b>60.0</b>	▲ 1.0
雇用	53.1	48.8	52.7	53.8	52.2	52.1	50.5	49.0	50.0	55.5	55.0	54.8	54.3	55.4	55.8	52.3	52.3	51.1	54.7	52.8	<b>52.8</b>	-
入荷遅延	49.4	50.2	52.9	51.9	51.5	50.4	51.1	49.7	50.4	52.0	52.4	52.7	54.1	53.3	53.7	54.3	58.5	54.0	55.9	53.2	<b>51.9</b>	▲ 1.3
在庫*	50.0	45.0	43.0	51.0	51.5	49.5	46.5	49.0	50.5	47.0	47.5	50.0	52.5	50.5	47.0	44.0	52.5	52.5	53.0	53.0	<b>53.0</b>	-
顧客在庫*	49.0	42.5	47.0	48.5	46.5	47.5	44.5	46.0	45.0	47.5	42.5	43.0	47.0	45.0	47.5	44.0	46.5	42.0	42.0	46.5	<b>46.5</b>	-
仕入価格*	55.0	52.5	55.5	56.5	61.5	54.5	50.0	49.5	52.5	49.0	54.0	56.5	55.5	52.5	53.5	60.5	60.0	59.0	56.5	60.0	<b>58.0</b>	▲ 2.0
受注残*	41.5	41.0	48.5	47.5	55.0	51.0	53.0	48.0	46.5	45.0	46.5	49.5	51.5	54.0	51.5	48.0	52.0	57.5	55.5	52.5	<b>48.0</b>	▲ 4.5
新規輸出受注*	48.0	47.0	51.5	50.5	53.5	56.0	54.0	51.0	54.5	53.5	55.5	52.0	57.0	59.5	55.0	54.5	53.5	55.5	57.0	56.5	<b>54.5</b>	▲ 2.0
輸入*	47.5	48.0	51.5	50.0	54.0	54.0	55.0	54.5	56.0	57.5	58.0	55.0	55.5	55.0	55.0	53.5	53.5	54.5	58.0	54.5	<b>57.0</b>	+ 2.5

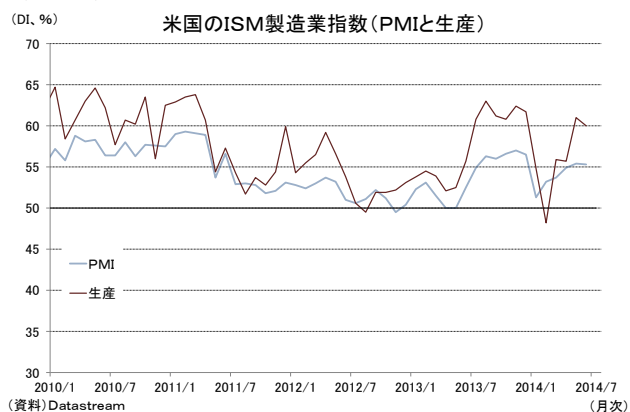
(注) 各項目ごとに網掛けが濃いほど、良好な結果であることを表す(濃淡は過去3年分のデータから計算)。\*は原系列  
 (資料) Datastreamよりニッセイ基礎研究所作成

PMIの構成指数のうち、低下したのは生産指数の60.0(前月:61.0、前月差:▲1.0ポイント)と入荷遅延指数の51.9(前月:53.2、前月差:▲1.3ポイント)であった(図表2・3・6)。一方で、新規受注指数は58.9(前月:56.9、前月差:+2.0ポイント)と改善している(図表2・4)。総合指数で見れば、前月からやや低下したが、生産指数の水準は依然として高く、また、先行きの動向を示唆する新規受注については5カ月連続で拡大していることから、他の指数についても今後の改善期待が持てる。

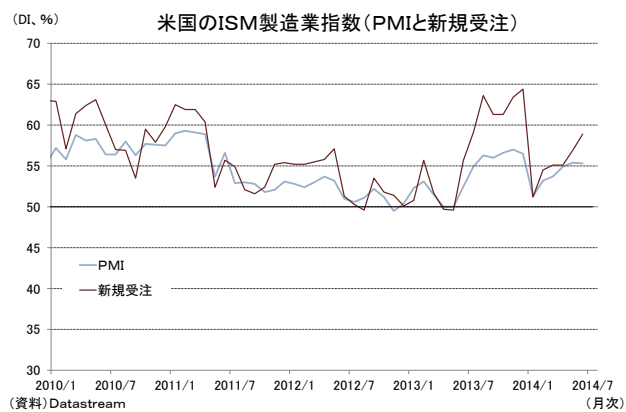
そのため、今回の結果をそれほど悲観する必要は無いだろう。強いて言えば、雇用指数が52.8(前月:52.8、前月差:±0ポイント)と、寒波前より低めの水準が続いている(図表2・5)。したがって、企業活動が活発でも雇用意欲がそれほど強まっていない可能性が指摘でき、雇用環境の遅れに関してはやや懸念が残る。ただし、少なくとも悪化はしておらず、総じて見れば景況感の良さを確認できる結果だったと言える。

なお、前述の入荷遅延指数や受注残指数の悪化(今月:48.0、前月:52.5、前月差:▲4.5ポイント)については、寒波の影響による歪みが残っている可能性があり、解釈が難しい(図表2・6・10)。寒波の影響を受けてから、かなりの時間は経過しているものの、実際にどれほど弱含んでいるのかに関しては今後の結果も踏まえて見極めていく必要があるだろう。

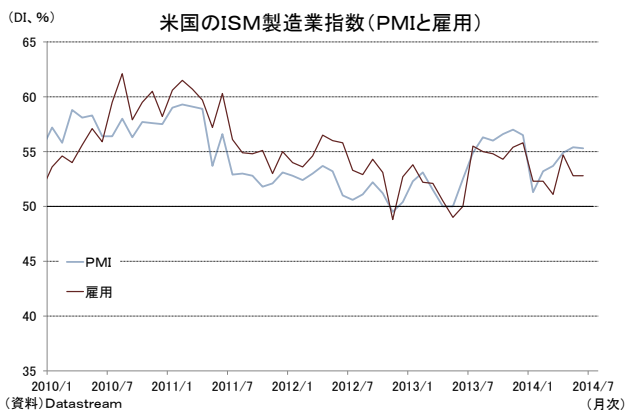
(図表 3)



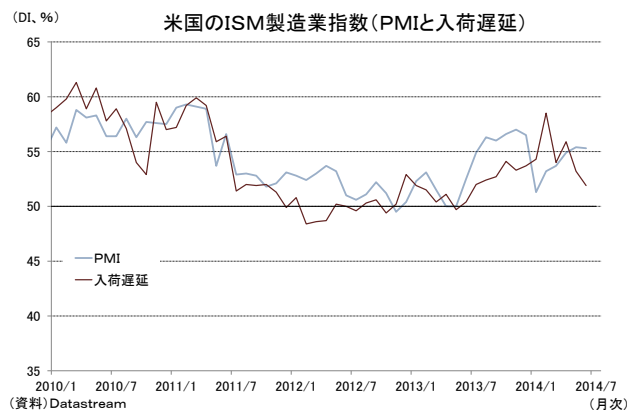
(図表 4)



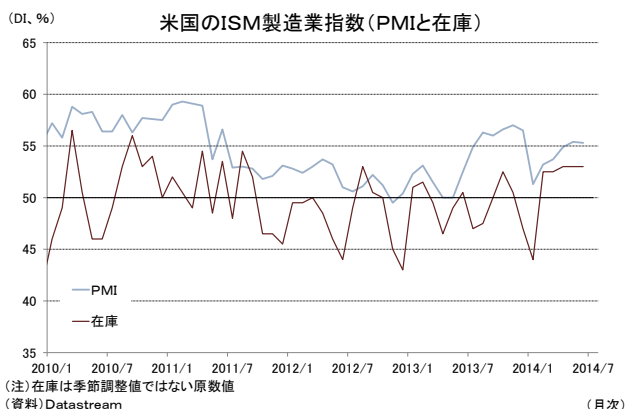
(図表 5)



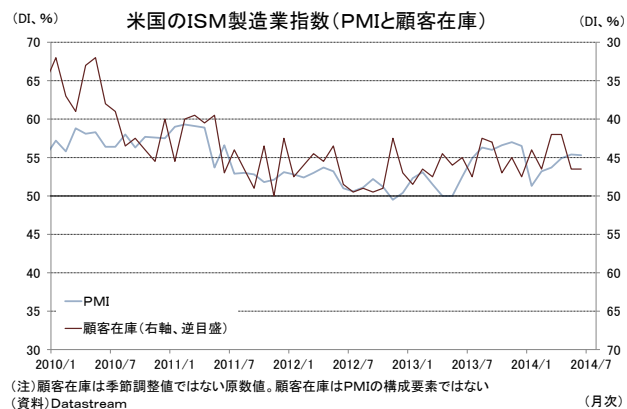
(図表 6)



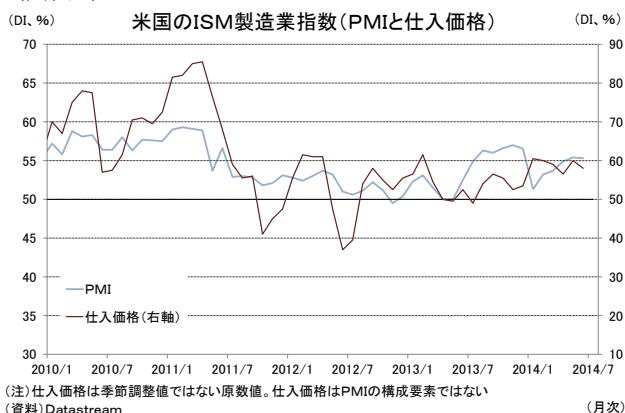
(図表 7)



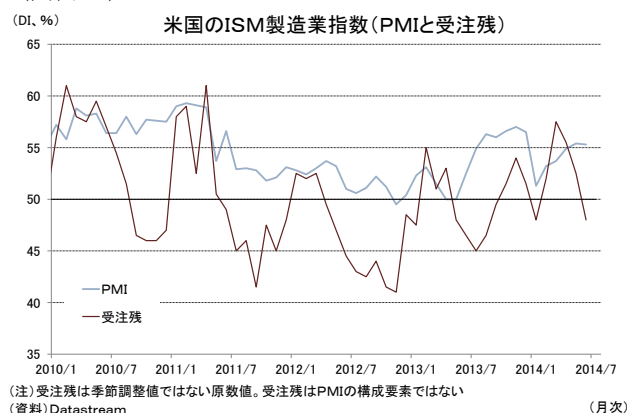
(図表 8)



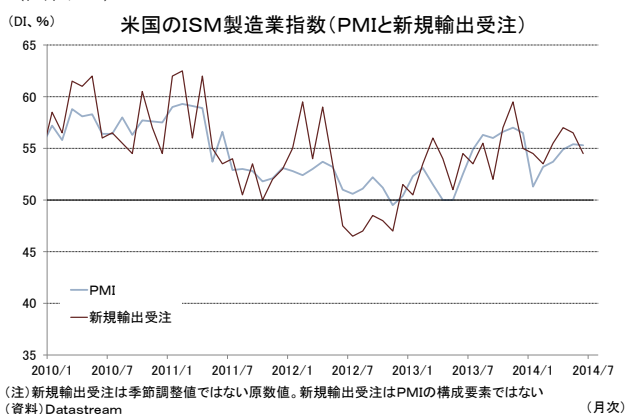
(図表 9)



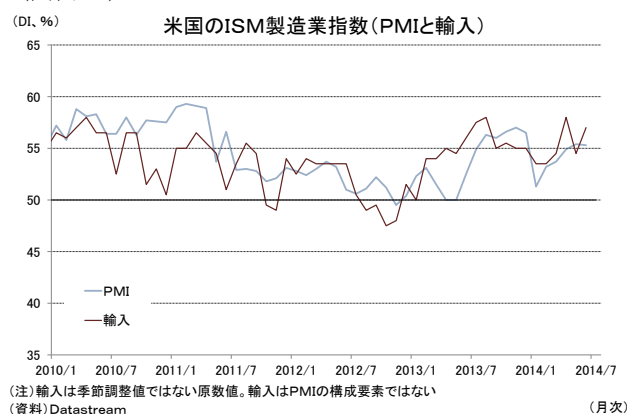
(図表 10)



(図表 11)



(図表 12)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。